

教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子

 <p>学校だより</p> <h1>高松</h1> <p>令和8年1月30日 発行</p>	<p>立川市立第五小学校</p> <p>校長 関口 保司</p> <p>〒190-0011 立川市高松町1丁目1番25号</p> <p>TEL 042-523-5238 042-523-5230 (こだま学級)</p> <p>FAX 042-529-0854</p> <p>HP http://www.tachikawa-edu.jp/es05/</p>
--	---

「友情」をテーマにした道徳授業地区公開講座

副校長 上野 徹

1月24日に実施した道徳授業地区公開講座は、多くの保護者や地域の皆様に各学級の授業や講演会を参観いただきました。感謝申し上げます。今回は、授業も講演会も「友情」をテーマに実施しました。

(話は前後しますが)3時間目は5・6年生と全校保護者や地域の皆様に立川市吹奏楽団の団長 都築啓志さんの講演や楽団の演奏を聞いてもらいました。都築さんの育んだ友情が実を結んだ楽団の存在や地域貢献についてのお話だけでなく、演奏の中にも友情をテーマに準備した曲を披露していただきました。

2時間目は全学級で、「友情・信頼」を主なテーマにして道徳の授業を行いました。その中で、私が担当した4年生のある学級での様子を紹介します。

4年生は「みんなで心をつなぐのために大切なこと」を考える授業でした。授業の中頃、「今までに友達と心をつなぐにできた経験は？」と問いかけると、「運動会のダンス」や「学習発表会のクイズ」、「クラスのお楽しみ会」などたくさんのお話を思い出して、ある子が「〇〇の時の合唱も」と発言すると、他の子が次々と「もみじ」を口ずさみ、参観者や私に即興で合唱を聴かせる場面もありました。そして、授業の最後に「4年生最後の2か月で心をつなぐにしたいこと」について考える時間をとると、「クラス全員で思い切り鬼ごっこや逃走中をしたい」「となりのクラスや学年の仲間とお楽しみ会をしたい」「『6年生を送る会』で4年生が心をつなぐにしたい」など、各々の発想を紹介してくれました。発言する子の顔は一樣に笑顔で、発言せずともワークシートの裏面にまでぎっしり書いてくれる子もいました。担任の先生と相談しながら一つでも実現できたら、かけがえのない瞬間になると思います。

どの学級も、今の仲間と過ごせるのは残り2か月弱。道徳の授業や講演・演奏会の内容をきっかけに、より一層、相手を思いやりながら友達との関係を築いていけるよう、引き続き我々教職員から声をかけていきます。

そして、6年生は2か月後に卒業・進学という節目を迎えます。これまで、様々な学校行事や委員会・クラブ活動などで下級生や学校全体を盛り上げ、支えてくれた6年生へ。今、横にいる仲間の全員が同じ教室で顔を合わせることは、卒業以降二度とありません。小学校生活締めくくりのこれからの期間、学習のまとめや振り返りはもちろんですが、友達との時間も大切に胸に刻んでくれたらと心から願っています。



児童

昨年の11月から12月にかけて全児童と保護者対象に行ったアンケートの結果をまとめました。両側の二次元コードからご確認下さい。

多くの皆様から回答いただき、また、各段階による評価のみならず文書によるご意見や感想もいただきました。改めて深く感謝申し上げます。いただいた回答を参考に、現在、今年度の教育活動の振り返りや次年度の計画作成等を行っています。



保護者